

編 集 後 記

スポーツ選手の発する言葉には素晴らしい言葉が多い。その一言一言に、自分と戦ってきた結晶が詰まっていると、スポーツ音痴の私でも感動する。最近サッカーでミランに移籍した本田圭佑さんが、小学校時代に書いた作文の「夢」と題して、自分への挑戦が載っていた。高みを目指し、自分の弱点を知っているからこそ、人よりもグラウンドに長くいることを自分に課したのではないかと、ご家族の言葉があった。水泳のイアンソープは「メダルの色が金でも銀でも、それは僕には重要なことではない。大事なのは、自分が目標に向けて最大限の努力をしたかどうか、ということ」と語っていた。自分と戦った結果からの絞り出されるような言葉である。他者との比較ではなく自己との対話から、自分が掲げた目標に向けて努力すること、そして継続けることはすごいことである。私のような凡人に天才は理解できないが、少なくとも自分のおかれた分野で、不断の努力を続ける姿勢だけは、自分に課していきたいと思う。これからもスポーツ界の老若男女からの素晴らしいメッセージに触れさせていただき、自分の生き方をリフレッシュさせていきたいと思う。

編集委員 三 徳 和 子

川崎医療福祉学会誌

平成 26 年 1 月 25 日発行

発行者 椿 原 彰 夫

発行所 川 崎 医 療 福 祉 学 会
〒 701-0193 倉敷市松島 288

印刷者 中 塚 浩 三

印刷所 山陽印刷株式会社
〒 701-1133 岡山市北区富吉 3098-1

連絡先 川崎医療福祉大学 中央教員秘書室
〒 701-0193 倉敷市松島 288
TEL 086-462-1111 内線 54095
086-464-1010 (直通)
FAX 086-463-3508